

4 住まいに関するアンケート調査（一部抜粋）

本計画策定の市民意識に関わる基礎的資料として、市民約2千人を対象としたアンケート調査を実施した結果を次に示す。

（1）実施概要

配付日：平成24年8月27日

回収期間：～9月21日（金）

対象：20歳以上の市民

抽出方法：無作為抽出（抽出数は圏域ごとの人口比に応じて設定）

配付数：1,977通

回収数：1,017通 回収率51.4%

質問の趣旨

現在の住環境の満足度

現在の住まいの満足度

今後の住まいについてなど

- ・今後の住まいの意向（建て替え、購入、修繕、移転）
- ・住み替え機会 / 住み替え先
- ・リフォーム意向
- ・重点的に取り組むべき住生活施策

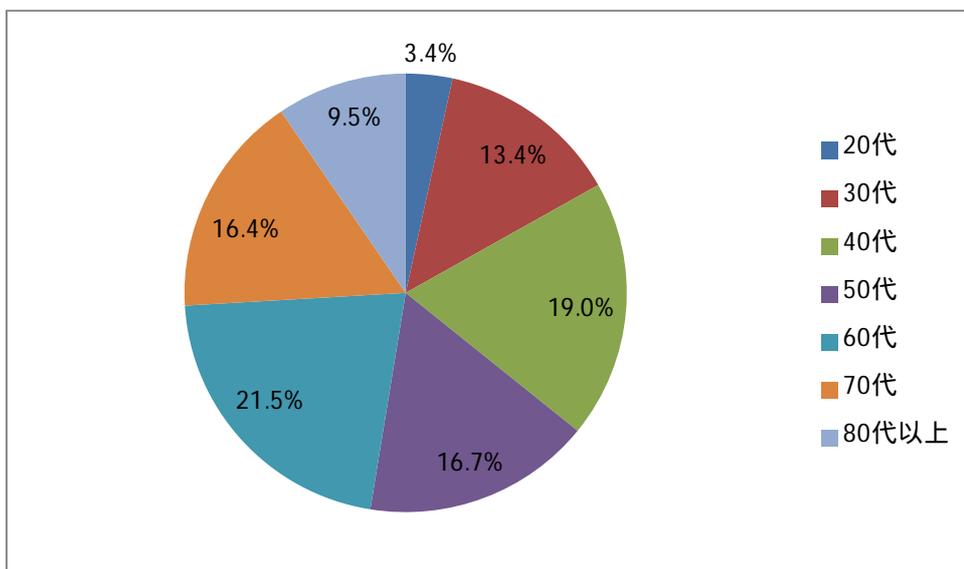
フェイスシート

- ・回答者属性 年齢 / 家族構成 / 同居する高齢者の有無 / 居住年数 / 地域
- ・住まいの状況 形態 / 所有 / 広さ / 築年数

(2) 集計結果 (以下、項目の番号は、設問番号)

1 年齢

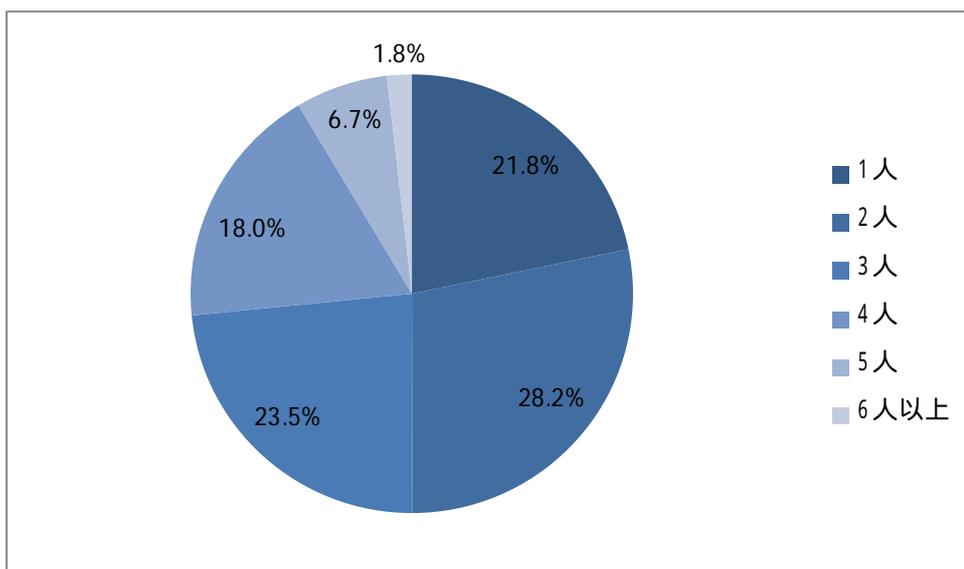
「20代」・「80代」の回答者数が10%未満であるほかは、各年齢層から偏りなく回答が得られている。



20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
34	134	190	167	215	164	95
3.4%	13.4%	19.0%	16.7%	21.5%	16.4%	9.5%

1 世帯の人数

世帯人員数を「5人」・「6人以上」とする回答者は合わせて10%未満であるが、1～4人それぞれの人員数に該当する回答者数はおおむね20%前後となっている。

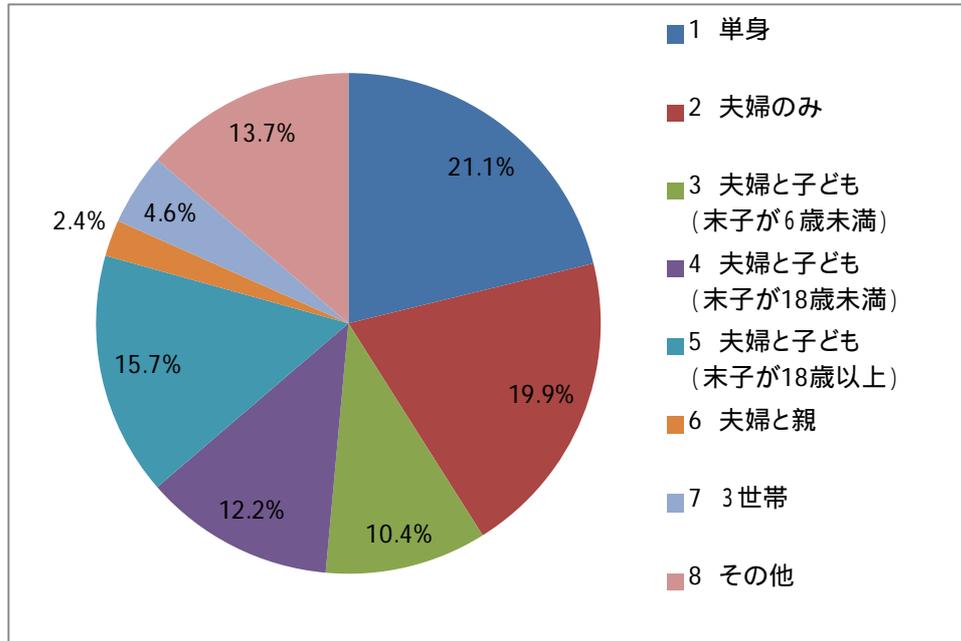


1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
216	280	233	179	67	18
21.8%	28.2%	23.5%	18.0%	6.7%	1.8%

1 - 家族構成

「単身」・「夫婦のみ」世帯の回答者が最も多く、それぞれ約 20%を占める。

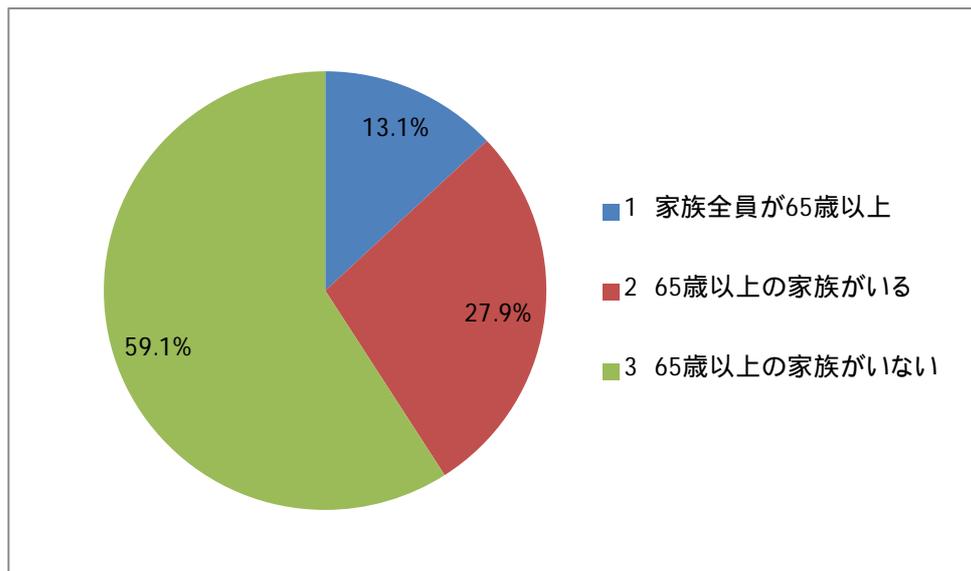
子どものいる世帯（番号 3 ~ 5）は、それぞれ同程度の回答者があり、合わせて約 40%を占める。



1 単身	2 夫婦のみ	3 夫婦と子ども (末子が6歳未満)	4 夫婦と子ども (末子が18歳未満)	5 夫婦と子ども (末子が18歳以上)	6 夫婦と親	7 3世帯	8 その他
206	194	101	119	153	23	45	133
21.1%	19.9%	10.4%	12.2%	15.7%	2.4%	4.6%	13.7%

1 家族内の高齢者の有無

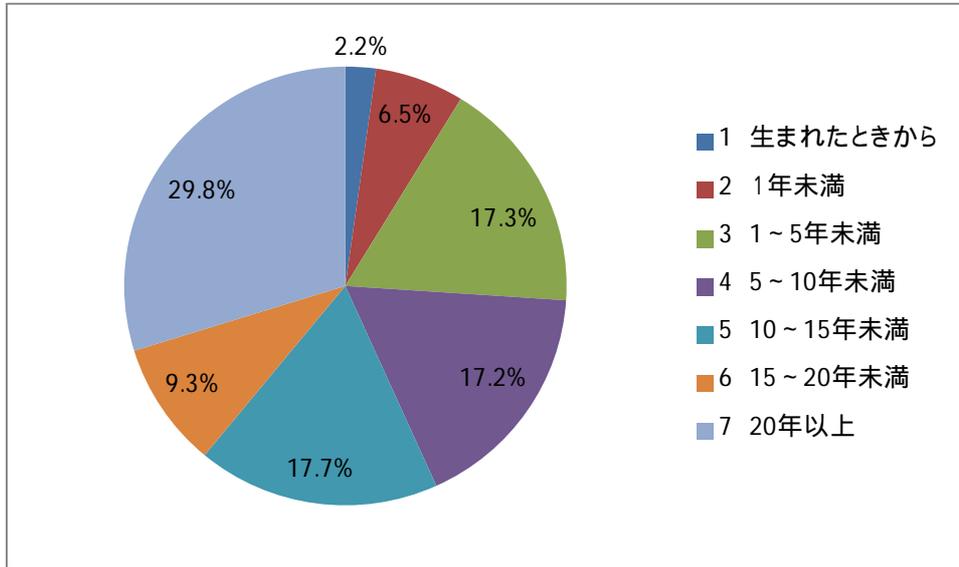
高齢者がいるとする世帯（番号 1 ~ 2）は、約 4 割を占める。うち、全員が高齢者の世帯（番号 1）は全体の 13%を占める。



1 家族全員が65歳以上	2 65歳以上の家族がいる	3 65歳以上の家族がない
118	252	534
13.1%	27.9%	59.1%

1 居住年数

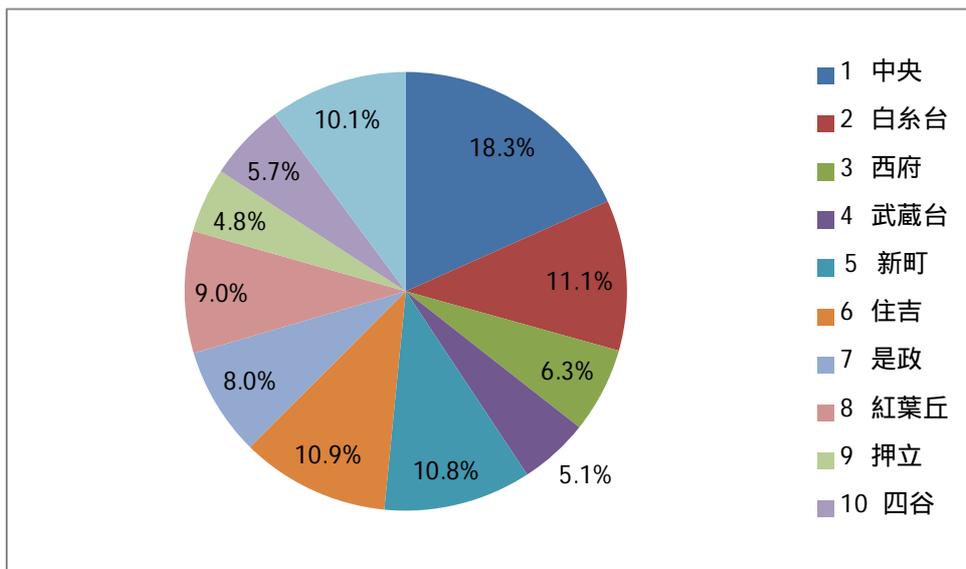
現在の住まいの居住年数が「20年以上」の回答者が約30%で最も多く、次いで、「1～5年未満」・「5～10年未満」・「10～15年未満」の回答者がそれぞれ17～18%を占める。



1 生まれたときから	2 1年未満	3 1～5年未満	4 5～10年未満	5 10～15年未満	6 15～20年未満	7 20年以上
22	65	172	171	176	92	296
2.2%	6.5%	17.3%	17.2%	17.7%	9.3%	29.8%

1 お住まいの地域

「中央」地域の回答者が18%である以外は、各地域で回答者数に大きな偏りは見られない。

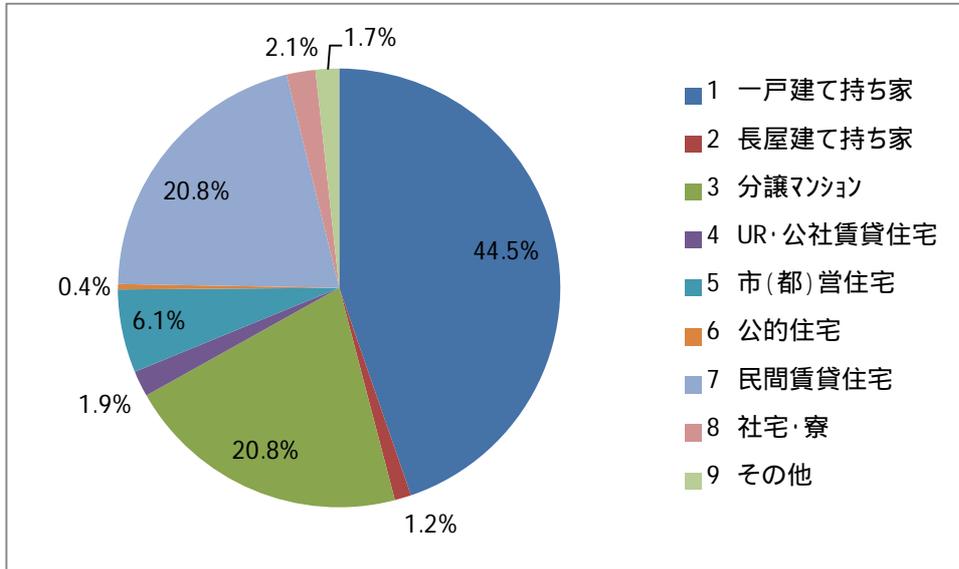


1 中央	2 白糸台	3 西府	4 武蔵台	5 新町	6 住吉	7 是政	8 紅葉丘	9 押立	10 四谷	11 片町
183	111	63	51	108	109	80	90	48	57	101
18.3%	11.1%	6.3%	5.1%	10.8%	10.9%	8.0%	9.0%	4.8%	5.7%	10.1%

1 住まいの形態

「一戸建て持ち家」に住む回答者が約 45%と最も多い。次いで、「分譲マンション」・「民間賃貸住宅」がそれぞれ約 21%を占める。

「市（都）営住宅」に住む回答者は約 5%となっている。

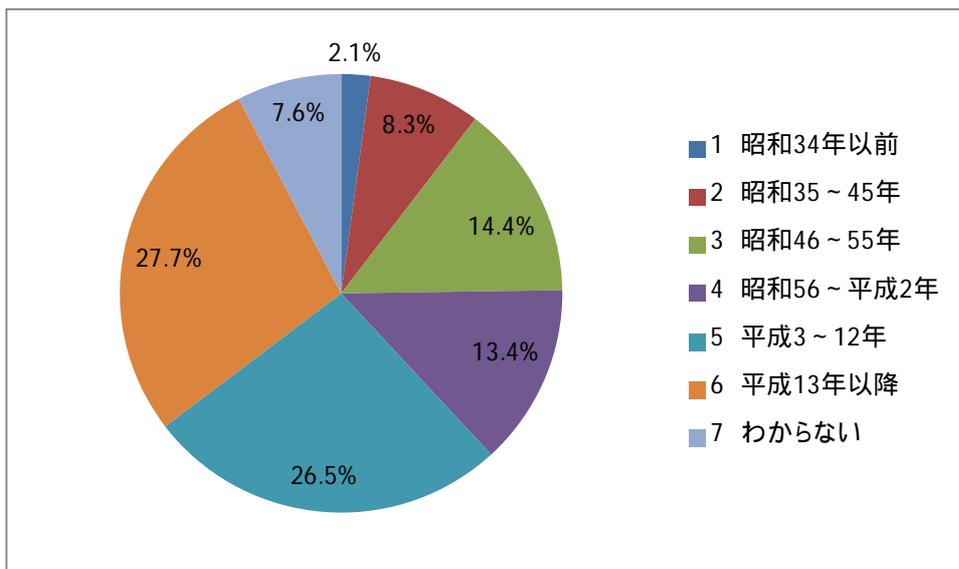


1 一戸建て持ち家	2 長屋建て持ち家	3 分譲マンション	4 UR・公社賃貸住宅	5 市(都)営住宅	6 公的住宅	7 民間賃貸住宅	8 社宅・寮	9 その他
445	12	208	19	61	4	208	21	17
44.5%	1.2%	20.8%	1.9%	6.1%	0.4%	20.8%	2.1%	1.7%

1 住まいの建築時期

現在の住まいの建築時期が、「平成3～12年」・「平成13年以降」とする回答者が最も多く、それぞれ3割近くを占める。

昭和55年以前とする回答者（番号1～3）もあり、合わせて24%を占める。



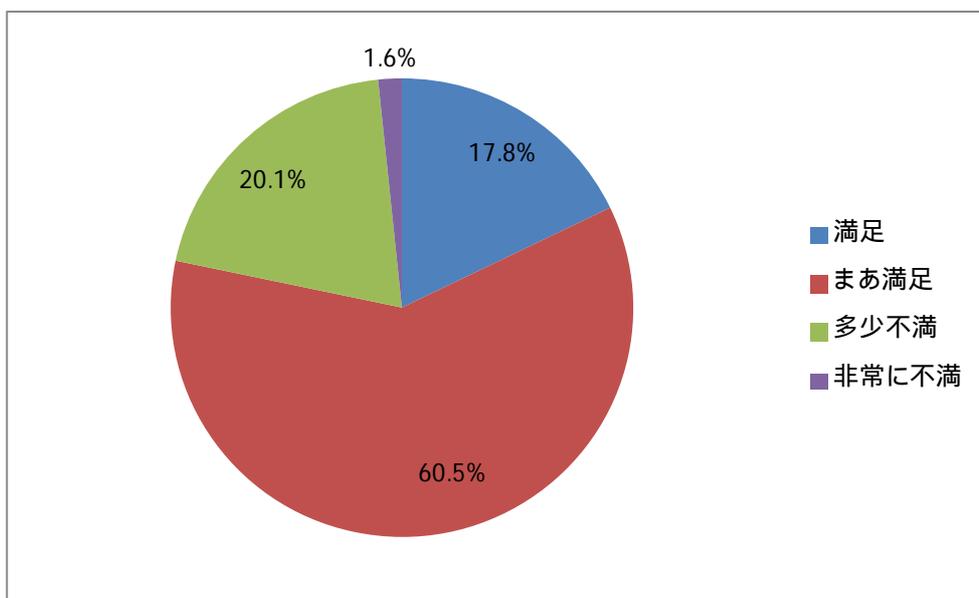
1 昭和34年以前	2 昭和35～45年	3 昭和46～55年	4 昭和56～平成2年	5 平成3～12年	6 平成13年以降	7 わからない
21	81	141	131	260	272	75
2.1%	8.3%	14.4%	13.4%	26.5%	27.7%	7.6%

2 現在の住まいの住環境の総合的な満足度

現在の住まいの住環境について、「まあ満足」とのする回答が最も多く約6割を占める。

「満足」とする回答が約18%あり、「まあ満足」と合わせて8割近くが住環境に対して肯定的な回答をしている。

一方で、「多少不満」とする回答が約20%あるが、「非常に不満」については2%にとどまる。



満足	まあ満足	多少不満	非常に不満
119	404	134	11
17.8%	60.5%	20.1%	1.6%

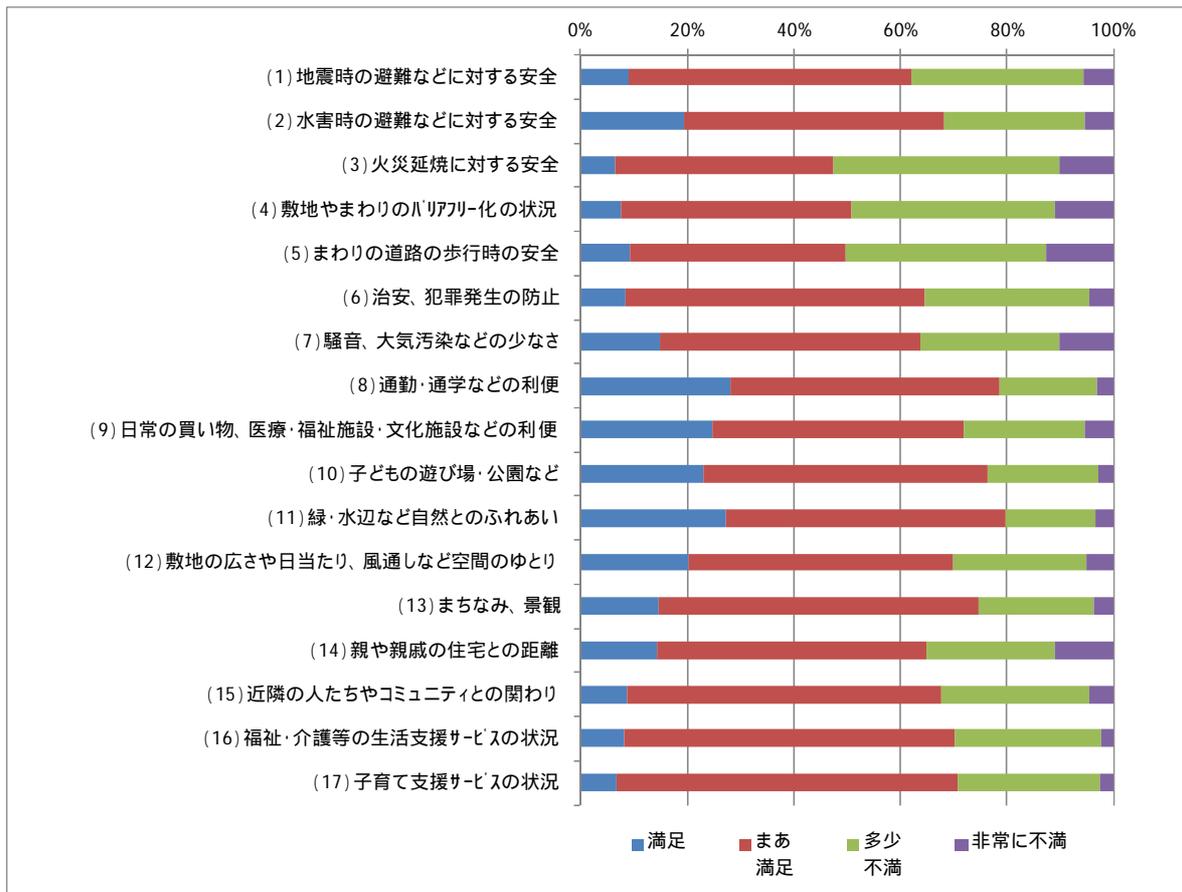
2 現在の住まいの住環境の満足度（項目別）

満足度を尋ねた17項目のうち、14項目について「満足」・「まあ満足」とする回答が5割を大きく超え、総じて満足度が高い回答が得られている。

現在の住まいの住環境について、「通期・通学などの利便」・「子どもの遊び場・公園など」・「緑・水辺など自然のふれあい」について、満足度が高く、「満足」・「まあ満足」とする回答が8割近くに及ぶ。

一方で、「火災延焼に対する安全」・「敷地やまわりのバリアフリー化の状況」・「まわりの道路の歩行時の安全」での満足度は低く、「多少不満」・「非常に不満」とする回答が約5割に及ぶ。

<項目ごとの満足度>



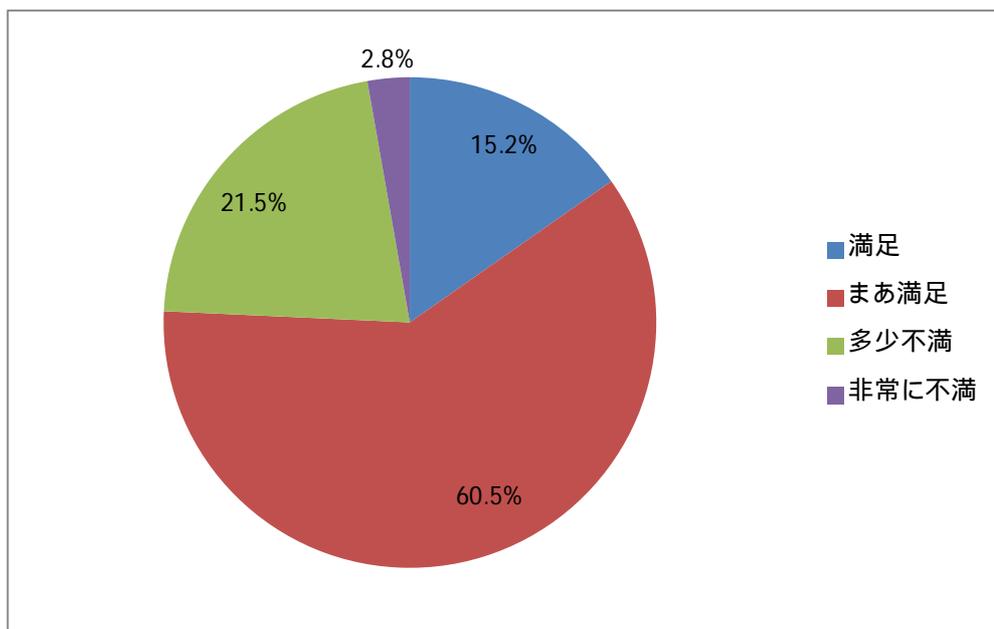
	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満
(1)地震時の避難などに対する安全	89	523	318	56
(2)水害時の避難などに対する安全	189	477	256	54
(3)火災延焼に対する安全	65	400	416	99
(4)敷地やまわりのバリアフリー化の状況	74	418	372	106
(5)まわりの道路の歩行時の安全	92	401	373	127
(6)治安、犯罪発生の防止	82	552	301	45
(7)騒音、大気汚染などの少なさ	148	479	255	101
(8)通勤・通学などの利便	272	491	177	30
(9)日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便	249	471	226	55
(10)子どもの遊び場・公園など	220	512	198	27
(11)緑・水辺など自然とのふれあい	269	516	164	35
(12)敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	200	493	246	52
(13)まちなみ、景観	146	593	212	37
(14)親や親戚の住宅との距離	135	479	226	105
(15)近隣の人たちやコミュニティとの関わり	87	580	272	45
(16)福祉・介護等の生活支援サービスの状況	77	571	253	22
(17)子育て支援サービスの状況	58	539	225	21

2 現在の住まいの総合的な満足度

現在の住まいについて、「まあ満足」とする回答が最も多く約6割を占める。

「満足」とする回答が約15%あり、「まあ満足」と合わせて8割近くが住まいに対して肯定的な回答をしている。

一方で、「多少不満」とする回答が約22%あるが、「非常に不満」については3%にとどまる。



満足	まあ満足	多少不満	非常に不満
94	374	133	17
15.2%	60.5%	21.5%	2.8%

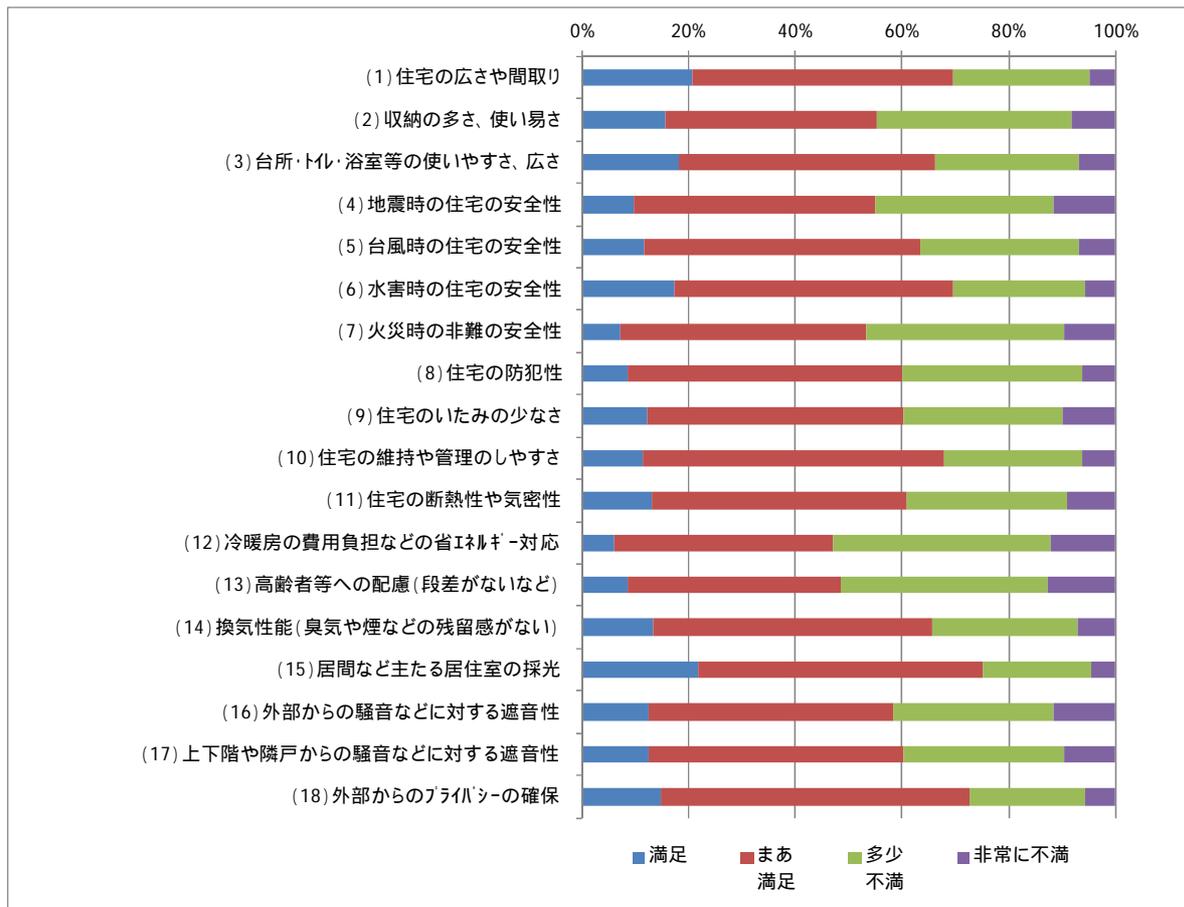
2 現在の住まいの総合的な満足度（項目別）

満足度を尋ねた18項目のうち、16項目について「満足」・「まあ満足」とする回答が5割を大きく超え、総じて満足度が高い回答が得られている。

現在の住まいの住環境について、「居間など主たる居住室の採光」・「外部からのプライバシーの確保」・「住宅の広さや間取り」・「水害時の住宅の安全性」について、満足度が高く、「満足」・「まあ満足」とする回答が約7割に及ぶ。

一方で、「冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応」・「高齢者等への配慮（段差がないなど）」での満足度は低く、「多少不満」・「非常に不満」とする回答が約5割に及ぶ。

<項目ごとの満足度>



	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満
(1) 住宅の広さや間取り	206	486	253	49
(2) 収納の多さ、使い易さ	154	393	359	82
(3) 台所・トイレ・浴室等の使いやすさ、広さ	182	479	269	70
(4) 地震時の住宅の安全性	96	446	331	114
(5) 台風時の住宅の安全性	117	510	293	69
(6) 水害時の住宅の安全性	169	512	243	55
(7) 火災時の非難の安全性	70	454	367	94
(8) 住宅の防犯性	86	508	334	63
(9) 住宅のいたみの少なさ	120	475	295	99
(10) 住宅の維持や管理のしやすさ	111	551	252	61
(11) 住宅の断熱性や気密性	128	469	294	90
(12) 冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応	60	398	394	119
(13) 高齢者等への配慮(段差がないなど)	84	390	380	126
(14) 換気性能(臭気や煙などの残留感がない)	132	514	268	70
(15) 居間など主たる居住室の採光	218	528	202	45
(16) 外部からの騒音などに対する遮音性	125	455	299	115
(17) 上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性	124	471	297	97
(18) 外部からのプライバシーの確保	146	571	214	58

3 今後の住み替えやリフォームの意向

今後の住まいについて、「さしあたり考えていない」約 44%、「住み替えもリフォームもしない」12%であり、これらの回答を除くと、約 4 割の回答者が今後の住まいの住み替えやリフォームについて、何らかの意向を持っていることになる。

これら意向のある回答について見ると、「家を借りる」約 14%、「家を購入する」約 13%の順に回答が多く、次いで「リフォームを行う」が 11%となっている。

住宅の取得に係る意向は「家を注文し新築する」・「家を購入する」が該当するが、「家を注文し新築する」は約 2%にとどまり、「家を購入する」意向が強い結果となっている。

既に取得している住宅の建て替え・改修意向は「家を建て替える」・「リフォームを行う」が該当するが、「住宅を建て替える」は約 3%にとどまり、「リフォームを行う」とする意向が強い結果となっている。

<購入意向について（「2 家を購入する」回答者）>

「家を購入する」とする回答者について、購入する住まいの建て方として、4 割近くが「まだ決めてない」とする一方で、「一戸建て」・「共同住宅（マンション）」を希望する回答が約 63%となっている。

上記について、それぞれ「一戸建て」約 38%、「共同住宅マンション」約 25%であり、若干「一戸建て」の意向が強い結果となった。

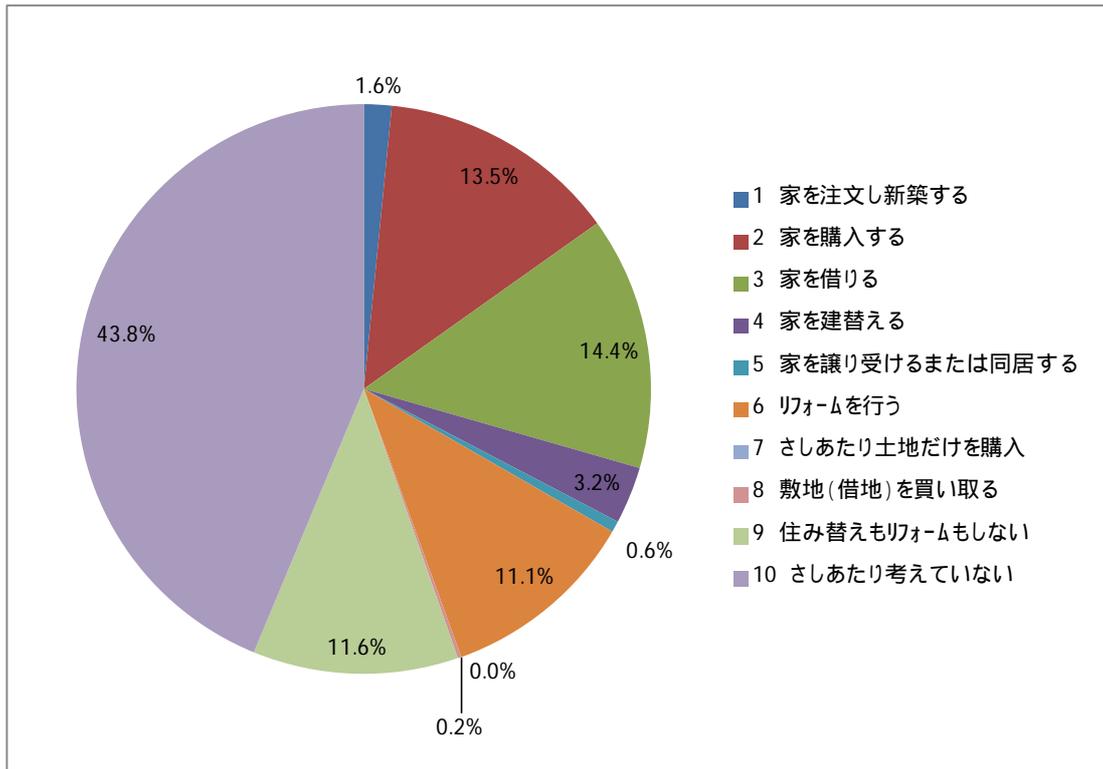
購入する住宅の新築・中古の別を見ると、「新築住宅」・「中古住宅」の別を答えた回答者は約 5 割あり、それぞれ「新築住宅」が約 34%、「中古住宅」が約 17%となり、「新築住宅」の購入意向が強い結果となった。

<賃貸意向について（「3 家を借りる」回答者）>

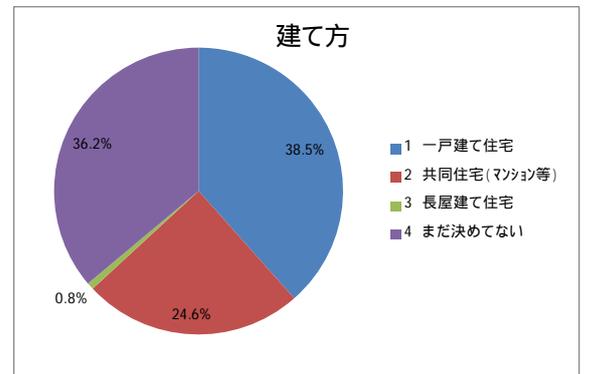
「家を借りる」とする回答者について、借りる住宅の種類として、約 3 割が「まだ決めてない」とする一方で、「民営の賃貸住宅」・「市（都）営住宅」を希望する回答が約 6 割となっている。

上記について、それぞれ「市（都）営住宅」約 31%、「民営の賃貸住宅」約 28%であり、若干「市（都）営住宅」の意向が強い結果となった。

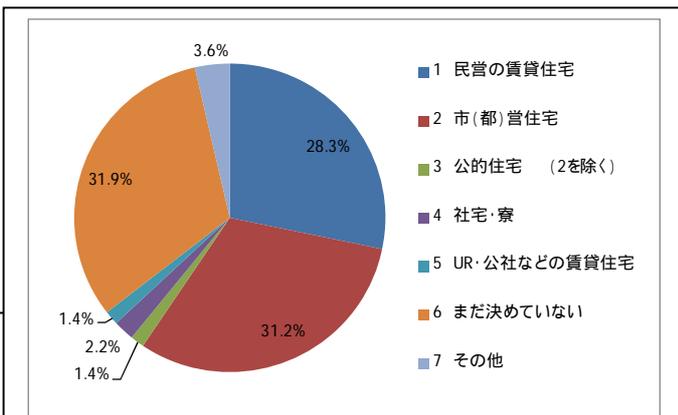
< 今後の住まいの意向 >



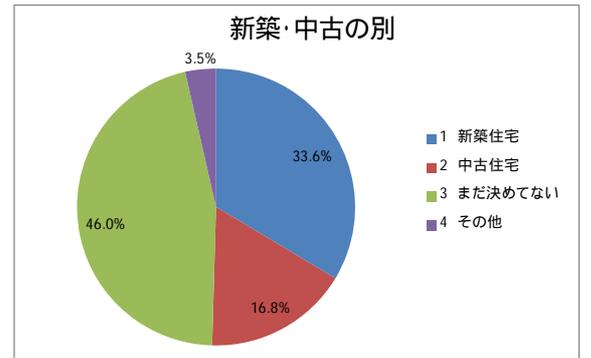
1 家を注文し新築する	15	1.6%
2 家を購入する	130	13.5%
3 家を借りる	138	14.4%
4 家を建替える	31	3.2%
5 家を譲り受けるまたは同居する	6	0.6%
6 リフォームを行う	107	11.1%
7 さしあたり土地だけを購入	0	0.0%
8 敷地(借地)を買い取る	2	0.2%
9 住み替えもリフォームもしない	111	11.6%
10 さしあたり考えていない	420	43.8%



1 一戸建て住宅	50	38.5%
2 共同住宅(マンション等)	32	24.6%
3 長屋建て住宅	1	0.8%
4 まだ決めてない	47	36.2%



1 民営の賃貸住宅	39	28.3%
2 市(都)営住宅	43	31.2%
3 公的住宅 (2を除く)	2	1.4%
4 社宅・寮	3	2.2%
5 UR・公社などの賃貸住宅	2	1.4%
6 まだ決めていない	44	31.9%
7 その他	5	3.6%



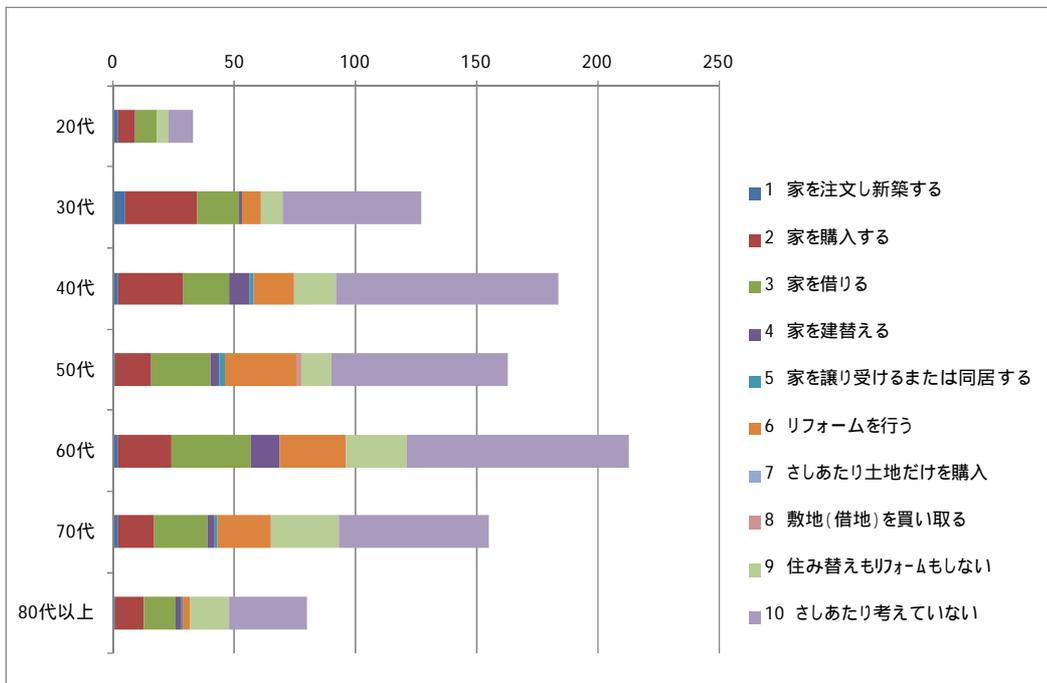
1 新築住宅	38	33.6%
2 中古住宅	19	16.8%
3 まだ決めてない	52	46.0%
4 その他	4	3.5%

<年齢別にみる住み替え意向（3 の年齢別集計）>

住み替え意向を年齢別に見ると、「家を購入する」とする回答は、「30代」・「40代」で多く、年齢が高くなるにつれて、その回答数は少なくなる傾向にあるが、「60代」で回答が増え、「40代」と同等程度の回答が得られている。

「60代」は、「家を借りる」・「家を建て替える」・「リフォームを行う」についての回答が他の年齢層に比べ多く、老後を迎え住み替えの意向が強い年齢層となっている。

「50代」が、「家を購入する」や「家を借りる」とする回答は他の年齢層に比べ少ない一方で、「リフォームを行う」とする回答は、全年齢層の中で最も多くなっており、子育てを終え、老後に備えるといった高齢期のライフステージに備えた意向であるものと考えられる。

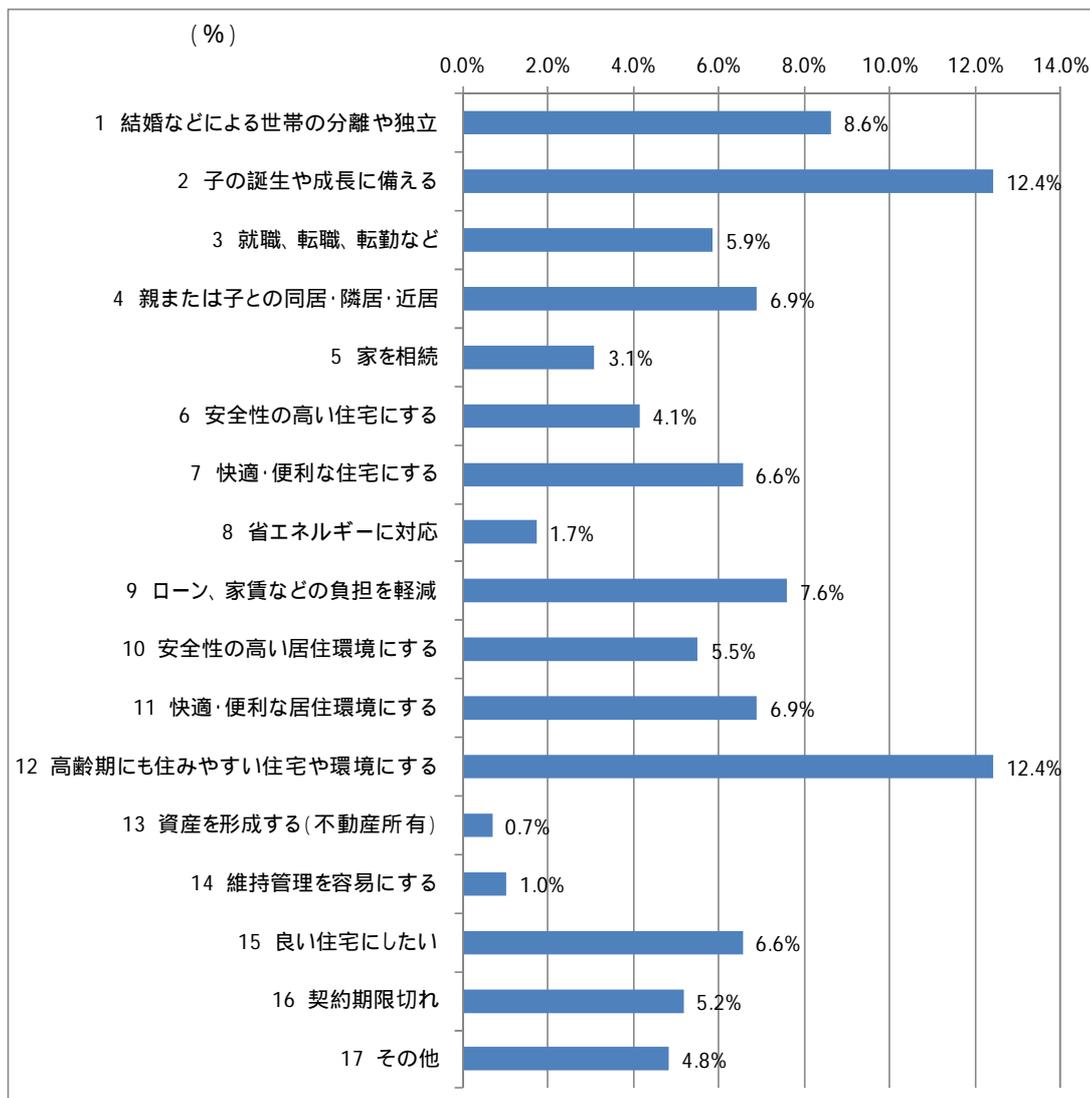


	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以	合計
1 家を注文し新築する	2	5	2	1	2	2	1	15
2 家を購入する	7	30	27	15	22	15	12	128
3 家を借りる	9	17	19	24	33	22	13	137
4 家を建替える	0	1	8	4	12	3	2	30
5 家を譲り受けるまたは同居する	0	0	2	2	0	1	1	6
6 リフォームを行う	0	8	17	30	27	22	3	107
7 さしあたり土地だけを購入	0	0	0	0	0	0	0	0
8 敷地(借地)を買い取る	0	0	0	2	0	0	0	2
9 住み替えもリフォームもしない	5	9	17	12	25	28	16	112
10 さしあたり考えていない	10	57	92	73	92	62	32	418
合計	33	127	184	163	213	155	80	955

3 (イ) 住み替えの時期

家の新築や購入、賃貸の住み替え意向のある回答者(3 の番号1~5)について、住み替え時期を尋ねると、「子の誕生や成長に備える」「高齢期にも住みやすい住宅や環境にする」を住み替えの機会とする回答が最も多く、それぞれ約12.4%に及ぶ。

次いで、「結婚などによる世帯の分離や独立」が約8.6%の回答が得られ、ライフステージの変化が住み替えの機会となっていることがうかがえる。

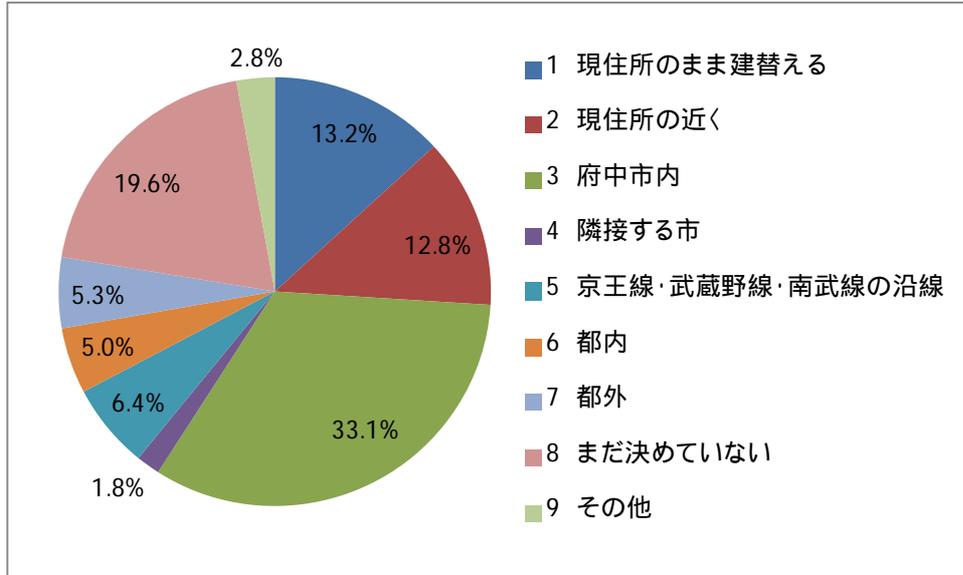


1 結婚などによる世帯の分離や独立	25	8.6%
2 子の誕生や成長に備える	36	12.4%
3 就職、転職、転勤など	17	5.9%
4 親または子との同居・隣居・近居	20	6.9%
5 家を相続	9	3.1%
6 安全性の高い住宅にする	12	4.1%
7 快適・便利な住宅にする	19	6.6%
8 省エネルギーに対応	5	1.7%
9 ローン、家賃などの負担を軽減	22	7.6%
10 安全性の高い居住環境にする	16	5.5%
11 快適・便利な居住環境にする	20	6.9%
12 高齢期にも住みやすい住宅や環境にする	36	12.4%
13 資産を形成する(不動産所有)	2	0.7%
14 維持管理を容易にする	3	1.0%
15 良い住宅にしたい	19	6.6%
16 契約期限切れ	15	5.2%
17 その他	14	4.8%

3 (ロ) 住み替え先

家の新築や購入、賃貸の住み替え意向のある回答者(3 の番号1～5)について、住み替え先を尋ねると、「府中市内」が約33%、「現住所のまま建て替える」や「現住所の近く」とする回答がそれぞれ約13%となっている。

これらの回答は合わせて約59%であり、本市に定住の意向が約6割あるものと考えられる。

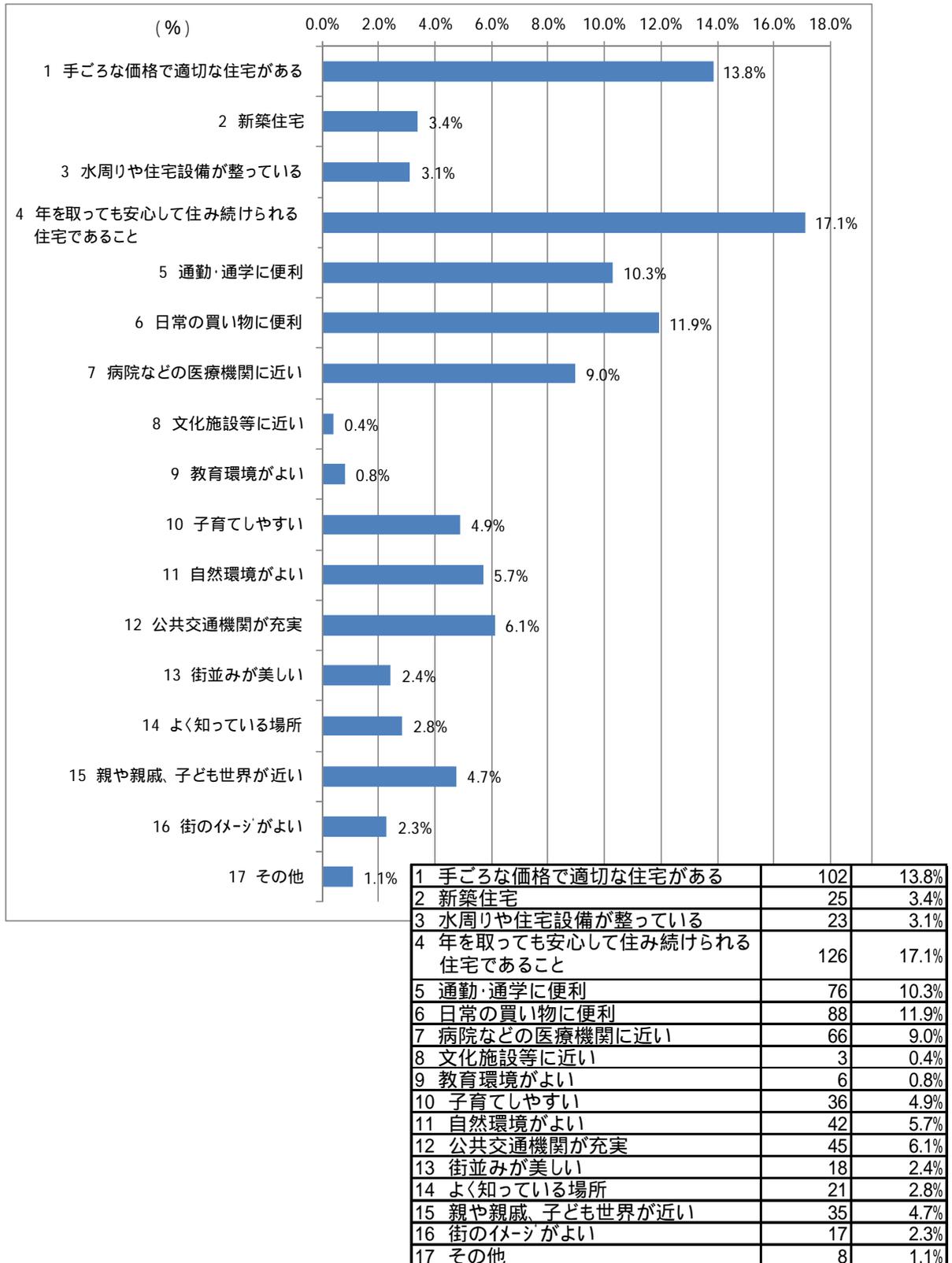


1	現住所のまま建替える	37	13.2%
2	現住所の近く	36	12.8%
3	府中市内	93	33.1%
4	隣接する市	5	1.8%
5	京王線・武蔵野線・南武線の沿線	18	6.4%
6	都内	14	5.0%
7	都外	15	5.3%
8	まだ決めていない	55	19.6%
9	その他	8	2.8%

3 (八) 住み替えの時に重視する点

家の新築や購入又は賃貸の住み替え意向のある回答者(3 の番号1~5)について、住み替え時に重視する事項を尋ねると、「年を取っても安心して住み続けられること」が約17%と最も多い。

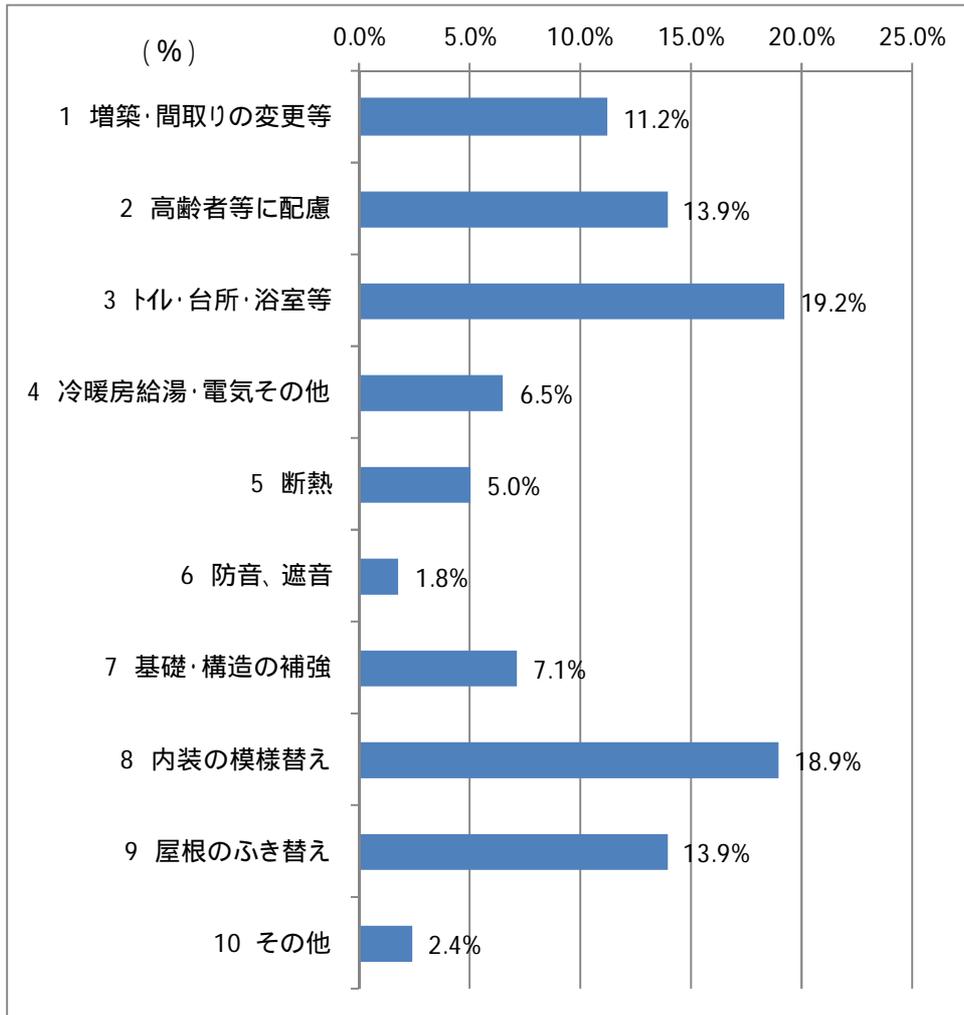
次いで、「手ごろな価格で適切な住宅があること」が約14%であるほか、「日常の買い物に便利」が約12%、「通勤・通学に便利なこと」が約10%と、比較的回答が多い。



3 (イ) リフォームの内容

リフォーム意向のある回答者(3 の番号6)について、希望するリフォームの箇所を尋ねると、「トイレ・台所・浴室等の設備の改善を行う」・「内装の模様替えや改修をする(壁紙・天井・床の張り替え・家具の交換など)」がそれぞれ約19%と多い。

次いで、「高齢者等に配慮し、段差をなくす、手すりを付けるなどする」・「屋根のふき替え、屋根・外壁の塗り替えを行う」が約14%と比較的回答が多いほか、「増築・間取りの変更、収納スペースの改善・増加を行う」が約11%の回答がある。

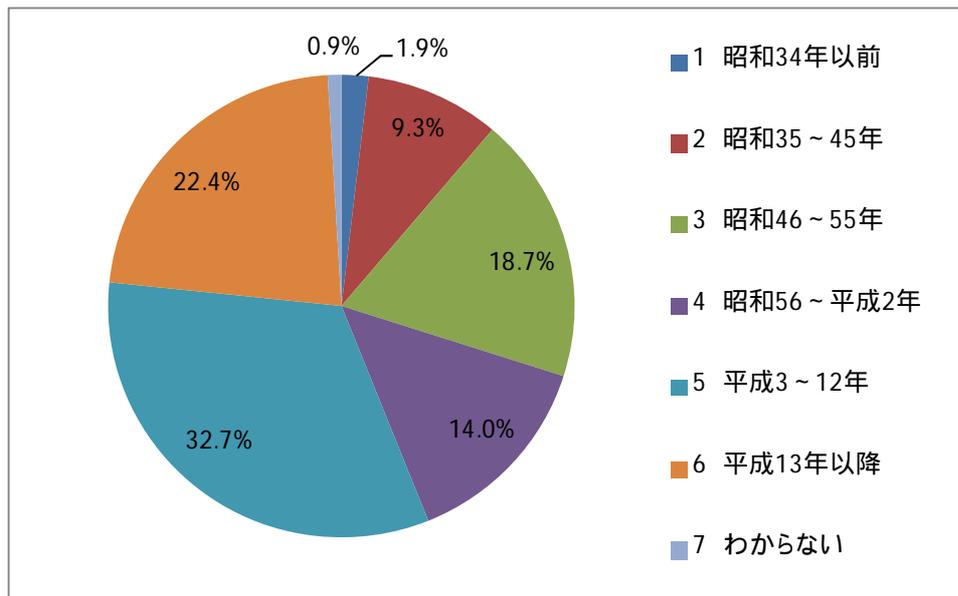


1 増築・間取りの変更等	38	11.2%
2 高齢者等に配慮	47	13.9%
3 トイレ・台所・浴室等	65	19.2%
4 冷暖房給湯・電気その他	22	6.5%
5 断熱	17	5.0%
6 防音、遮音	6	1.8%
7 基礎・構造の補強	24	7.1%
8 内装の模様替え	64	18.9%
9 屋根のふき替え	47	13.9%
10 その他	8	2.4%

<リフォーム意向（ 「リフォームを行う」回答者の住まいの建築年別集計）>

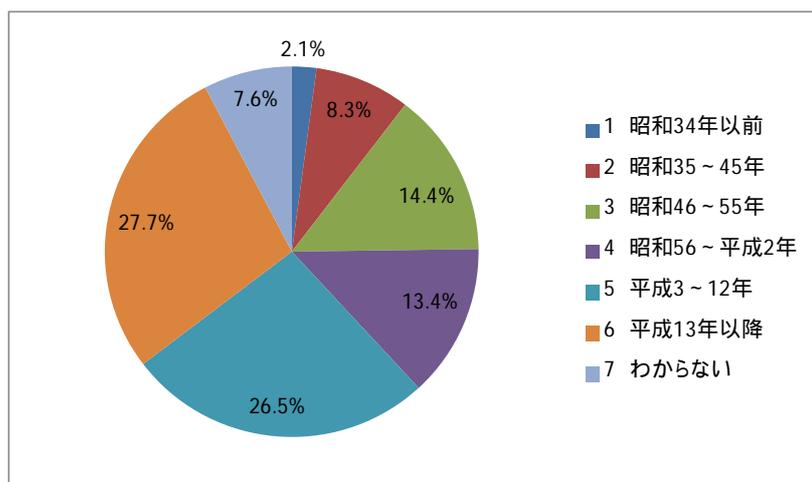
リフォーム意向のある回答者の住宅の建築年別の構成は、全ての回答者の住宅の建築年別の構成とおおむね符合している状況にある。

その中でも、「昭和 46～55 年」の回答者の割合が高くなっており、他の建築年代に比べ、リフォーム意向が強いものと考えられる。



1 昭和34年以前	2 昭和35～45年	3 昭和46～55年	4 昭和56～平成2年	5 平成3～12年	6 平成13年以降	7 わからない
2	10	20	15	35	24	1
1.9%	9.3%	18.7%	14.0%	32.7%	22.4%	0.9%

回答者の住まいの建築年【再掲】

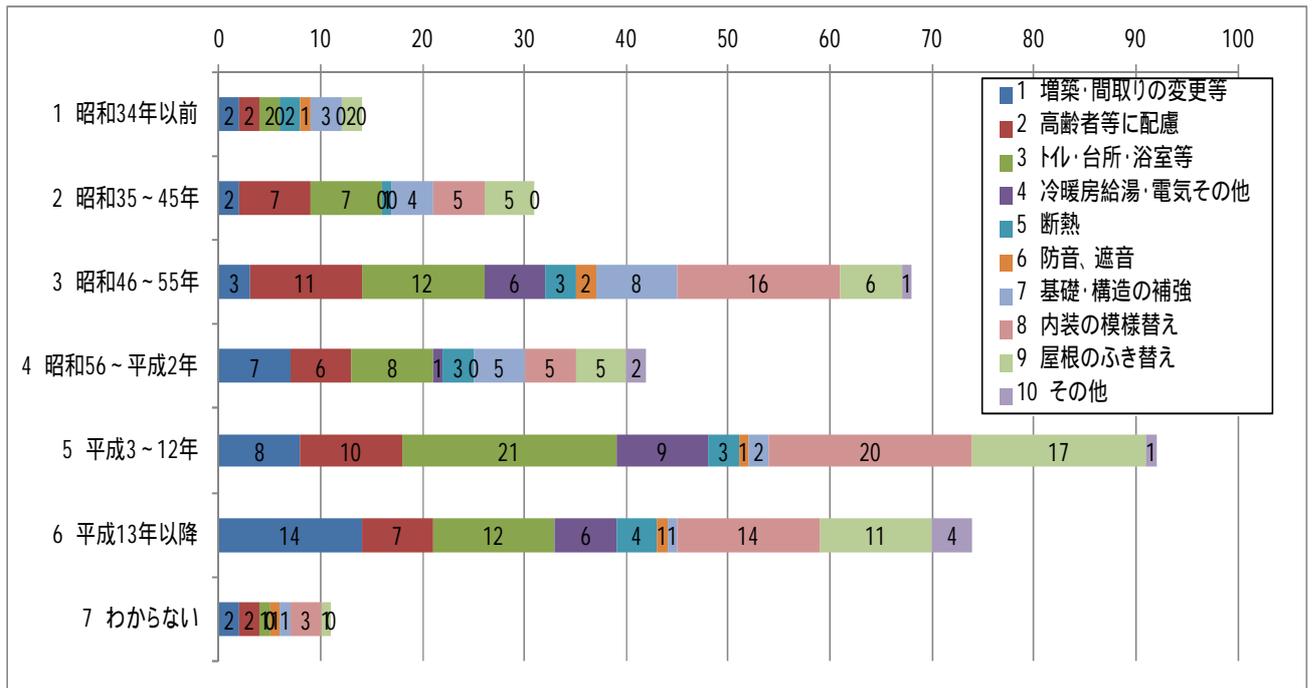


<リフォームの内容(3) (イ)リフォームの内容の建築年別集計>

建築年が「昭和46～55年」において、「高齢者等に配慮し、段差をなくす、手すりを付けるなどする」とする回答が最も多く、次いで「トイレ・台所・浴室等の設備の改善を行う」となっている。「高齢者等に配慮し、段差をなくす、手すりを付けるなどする」については、他の建築年代を通して最も回答が多い。

「高齢者等に配慮し、段差をなくす、手すりを付けるなどする」については、「昭和46～55年」に次いで「平成3～12年」において回答が多い。

また、「増築・間取りの変更、収納スペースの改善・増加を行う」とする意向は、建築年の浅い住宅で強い傾向にある。

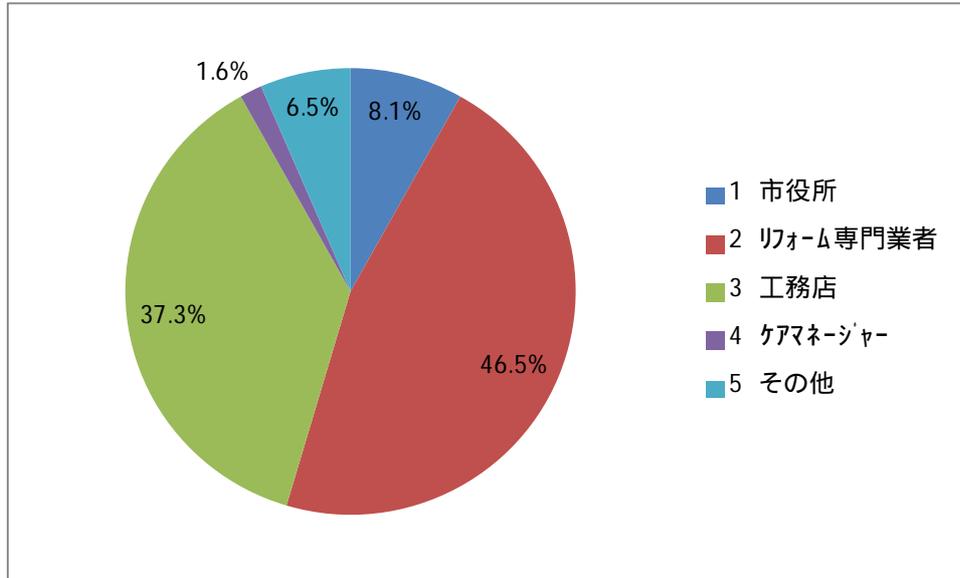


	1 昭和34年以前	2 昭和35～45年	3 昭和46～55年	4 昭和56～平成2年	5 平成3～12年	6 平成13年以降	7 わからない	合計
1 増築・間取りの変更等	2	2	3	7	8	14	2	38
2 高齢者等に配慮	2	7	11	6	10	7	2	45
3 トイレ・台所・浴室等	2	7	12	8	21	12	1	63
4 冷暖房給湯・電気その他	0	0	6	1	9	6	0	22
5 断熱	2	1	3	3	3	4	0	16
6 防音・遮音	1	0	2	0	1	1	1	6
7 基礎・構造の補強	3	4	8	5	2	1	1	24
8 内装の模様替え	0	5	16	5	20	14	3	63
9 屋根のふき替え	2	5	6	5	17	11	1	47
10 その他	0	0	1	2	1	4	0	8
合計	14	31	68	42	92	74	11	332

3 (ロ) リフォームする際に相談する先

リフォーム意向のある回答者(3 の番号6)について、リフォームの際の相談先を尋ねると、「リフォーム専門業者」・「工務店」とする回答が約8割を占める。

「市役所」を相談先とする回答は、8%となっている。



1 市役所	15	8.1%
2 リフォーム専門業	86	46.5%
3 工務店	69	37.3%
4 ケアマネージャー	3	1.6%
5 その他	12	6.5%

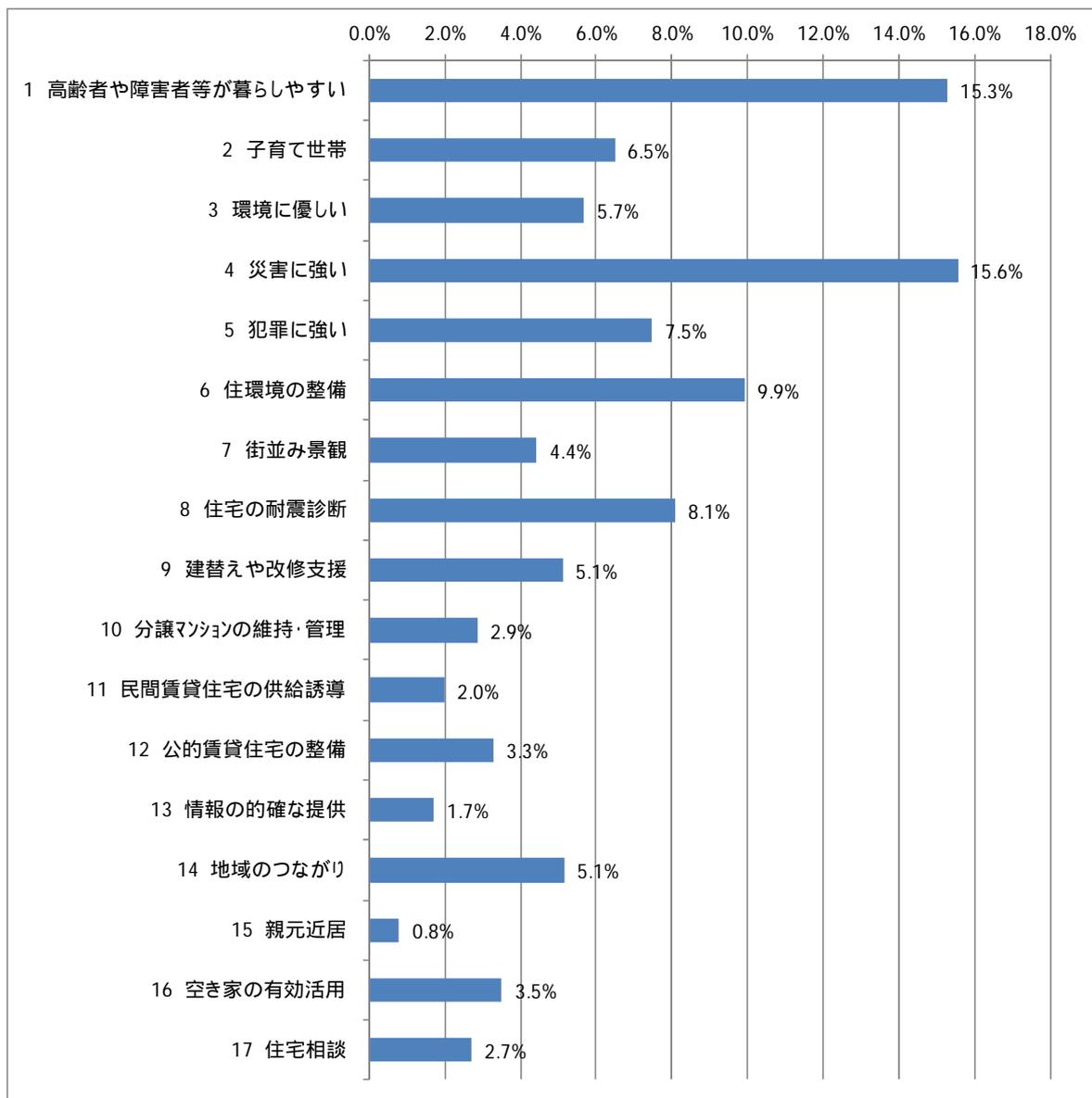
3 今後、市が重点的に取り組むべき住生活施策

今後、本市が重点的に取り組む住生活施策として、「災害に強い住宅・住環境の整備」・「高齢者や障害者等が暮らしやすい住宅の整備」が約15%と、顕著に回答が多く、東日本大震災以降の防災意識の高まり、高齢化の進行などの世相を反映した結果といえる。

次いで、「自然や緑を活かした住まいや住環境の整備」が約10%と、本市の良好な住環境の維持や活用に係る施策への意向も強いと考えられる。

「住宅の耐震診断や耐震改修への支援」が約8%と続き、個別的な施策でも、防災意識の高さが反映された形となっている。

「多様な需要に対応した公的賃貸住宅の整備」は、約3%であり、「良質で多様な民間賃貸住宅の供給誘導」の約2%を上回る結果となっている。



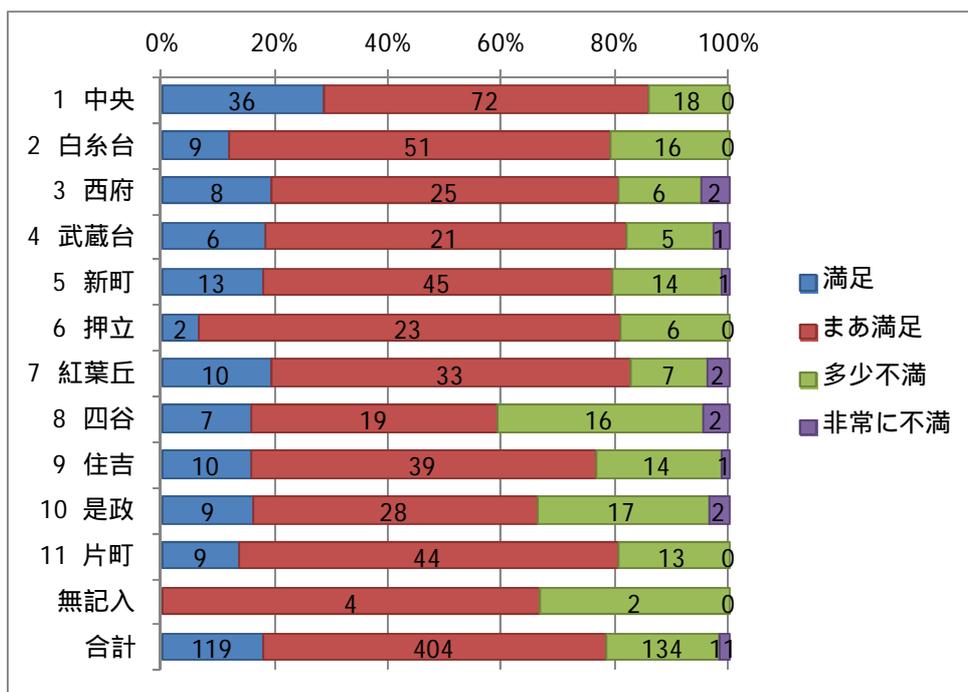
1 高齢者や障害者等が暮らしやすい	401	15.3%
2 子育て世帯	170	6.5%
3 環境に優しい	149	5.7%
4 災害に強い	408	15.6%
5 犯罪に強い	196	7.5%
6 住環境の整備	260	9.9%
7 街並み景観	116	4.4%
8 住宅の耐震診断	212	8.1%
9 建替えや改修支援	134	5.1%
10 分譲マンションの維持・管理	75	2.9%
11 民間賃貸住宅の供給誘導	52	2.0%
12 公的賃貸住宅の整備	86	3.3%
13 情報の的確な提供	45	1.7%
14 地域のつながり	135	5.1%
15 親元近居	21	0.8%
16 空き家の有効活用	92	3.5%
17 住宅相談	71	2.7%

(3) 地域別集計結果

住環境の総合的な満足度

おおむねの地域で「満足」・「まあ満足」が約8割ある中で、四谷、是政地域での満足度は低く、「多少不満」・「非常に不満」が3割を超える。

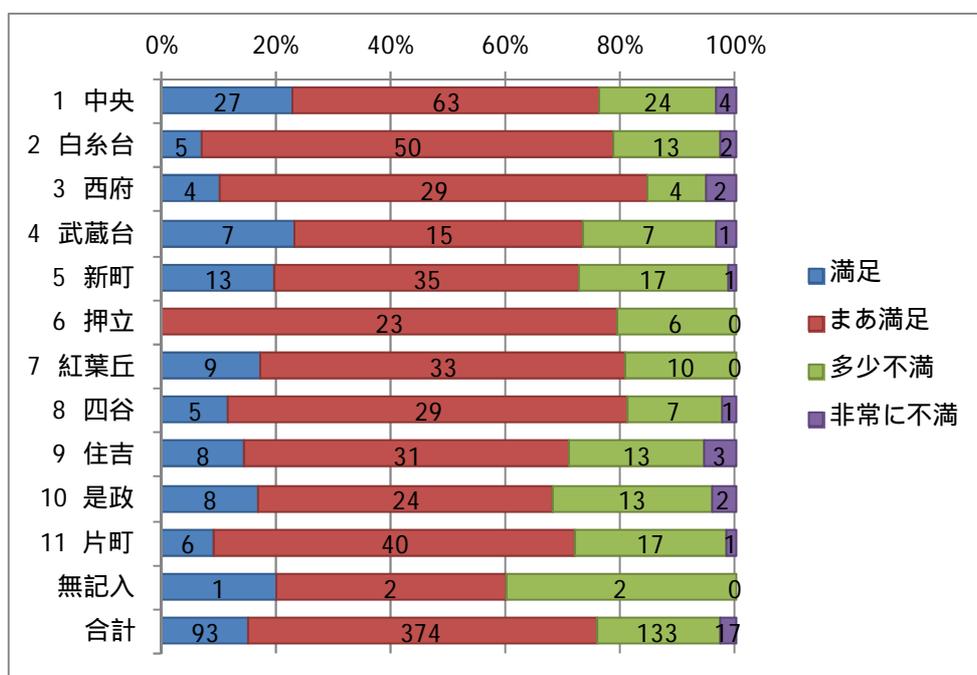
	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満	無回答	総計
1 中央	36	72	18	0	55	181
2 白糸台	9	51	16	0	34	110
3 西府	8	25	6	2	22	63
4 武蔵台	6	21	5	1	18	51
5 新町	13	45	14	1	34	107
6 押立	2	23	6	0	17	48
7 紅葉丘	10	33	7	2	37	89
8 四谷	7	19	16	2	14	58
9 住吉	10	39	14	1	45	109
10 是政	9	28	17	2	25	81
11 片町	9	44	13	0	35	101
無記入		4	2	0	7	13
合計	119	404	134	11	343	1011



住まいの総合的な満足度

全ての地域で「満足」・「まあ満足」が7～8割程度あり、総じて満足度は高い状況にあり、特に西府・紅葉丘・四谷・押立地域で高い。

	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満	無回答	総計
1 中央	27	63	24	4	63	181
2 白糸台	5	50	13	2	40	110
3 西府	4	29	4	2	24	63
4 武蔵台	7	15	7	1	21	51
5 新町	13	35	17	1	41	107
6 押立		23	6	0	19	48
7 紅葉丘	9	33	10	0	37	89
8 四谷	5	29	7	1	16	58
9 住吉	8	31	13	3	54	109
10 是政	8	24	13	2	34	81
11 片町	6	40	17	1	37	101
無記入	1	2	2	0	8	13
合計	93	374	133	17	394	1011



(4) 第2次計画調査時との比較

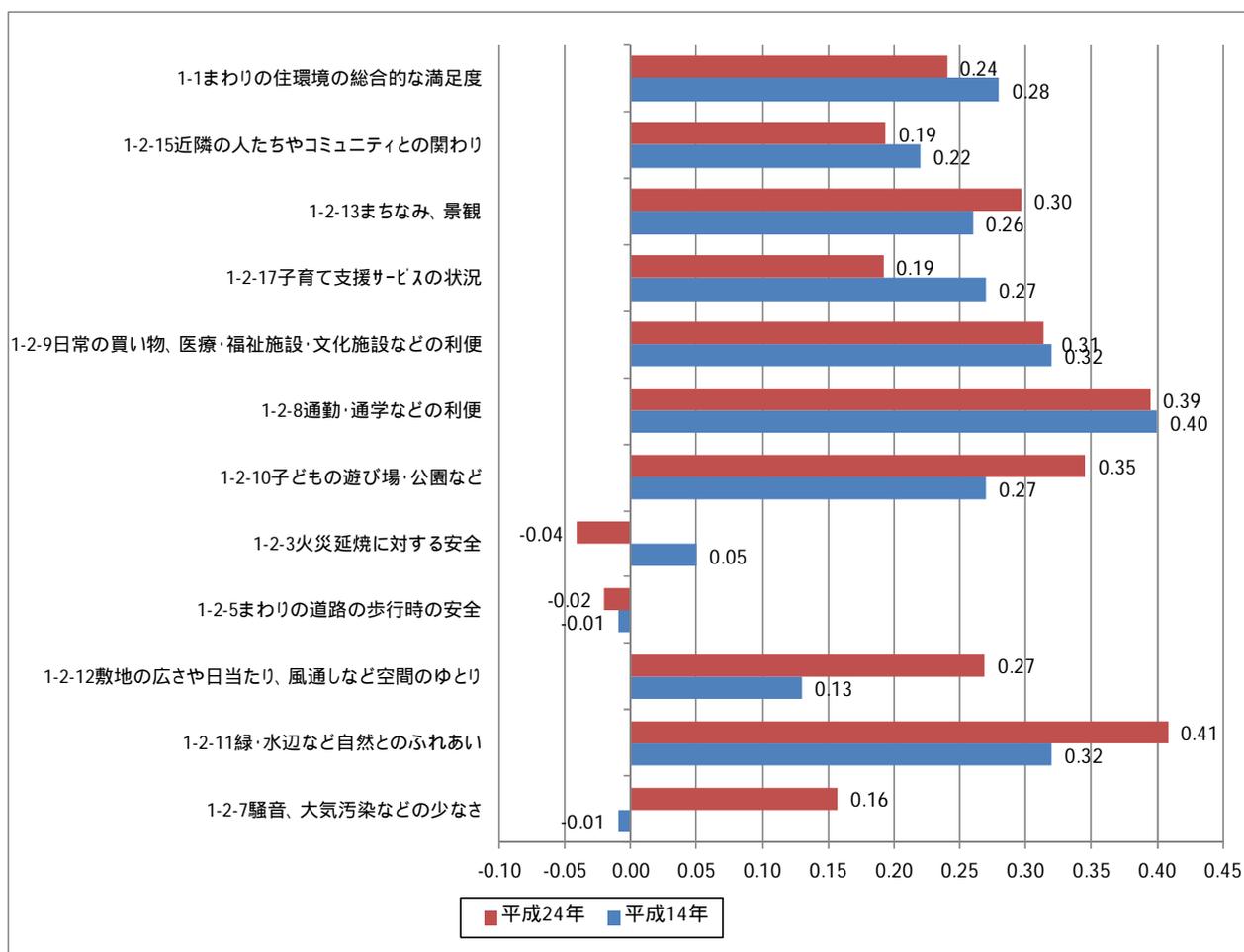
第2次計画策定に当たって実施した市民意識調査のうち、当調査と同様の趣旨の設問を取り上げ、その結果を比較する。

(結果)

総合満足度は、若干、第2次時点よりも低いものの、おおむね同等の結果が得られている。

個別設問については、「1-2-17 子育て支援サービスの状況」・「1-2-3 火災延焼に対する安全」で満足度の低下が見られる。

一方で、「1-2-13 まちなみ、景観」・「1-2-12 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり」・「1-2-11 緑・水辺など自然とのふれあい」では、満足度の改善が見られる。



満足指数の算定方法

第2次の意識調査と同様の方法にて算出

【満足】1.0・【まあ満足】0.5・【多少不満】-0.5・【非常に不満】-1.0として相加平均を算出し、満足指数としている。

最大値1.0(満足度最大)・最小値-1.0(満足度最小)であり、中立の場合は0に近づく。

平成24年設問	平成14年設問	
	ポイント	ポイント
1-2-7 騒音、大気汚染などの少なさ	0.16	-0.01 騒音・振動
1-2-11 緑・水辺など自然とのふれあい	0.41	0.32 生垣、街路樹等の緑
1-2-12 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	0.27	0.13 建物の建て込み
1-2-5 まわりの道路の歩行時の安全	-0.02	-0.01 周囲の道路の安全性
1-2-3 火災延焼に対する安全	-0.04	0.05 火災時の安全性
1-2-10 子どもの遊び場・公園など	0.35	0.27 公園・遊び場
1-2-8 通勤・通学などの利便	0.39	0.40 通勤・通学の利便性
1-2-9 日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便	0.31	0.32 日常の買い物の利便性
1-2-17 子育て支援サービスの状況	0.19	0.27 子育てのしやすさ
1-2-13 まちなみ、景観	0.30	0.26 まちなみや景観
1-2-15 近隣の人たちやコミュニティとの関わり	0.19	0.22 近隣とのつきあい
1-1 まわりの住環境の総合的な満足度	0.24	0.28 総合評価